
異世界メイドと1Rの主 2
The Otherworldly Maid and the One-Room Lord
R-18
ADULT ONLY
Presented by Fujiya

～前回のあらすじ～

どこにでもいる
普通のサラリーマン「平坂雄二」
の元へある日突然
異世界魔族メイド「シトリィ」
が現れる。

シトリィは元の世界に
帰ろうとするが魔力が足りず、
魔力補充するために
雄二のエッチな欲望を受け入れ、
そのまま快楽にはまっていった。

だが魔力が十分回復したシトリィは
雄二に別れを告げ帰ろうとするが、
雄二の不注意で魔法が不発に終わり、
二人きりの”１R”は
もうしばらく続くのだった…。

異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord


それにしてもさ
パ
パ
パ
パ
シトリィもずいぶん…
色々と上手になったよなぁ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
びくっ
びくっ
ユージ黙る…ッ
はっ
はっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
これも…姫様の所帰る…ためっ


はっ…
はっ
だから
ユージのため
違う……
ん…っ!?
本当に
そうかな？
ビクッ
ビクッ
ビクッ


シトリィってさ…
俺をこんなに求めるなんて――
れろっ♥
ふっ♥
れろっ♥
さす
んっ…♥
ふっ♥
ふ…んっ♥
ちゅくっ♥
ちゅくっ♥
ふっ♥
ん…っ♥
ふっ♥
ふっ♥
しゃぶっ♥
しゃぶっ♥
もしかして…俺のこと好きになっちゃったんじゃない？
ははは
……
それは…――


カ!!!!
うぉッ…!?
ガタ
ガタ
ビクッ
ガタ
ガタ
オオ
ヘネ
…ッ


ひめ…さま？
おぉシトリィよ!!
無事であった――
ドン☆
か……
…おのれ人間
ビキ
ビキ
我のシトリィにナニをしておる…!!


ヤバッ!!
うぐッ…!!
朽ちよ


姫様
待つ!!
!!
なんじゃ
シトリィよ
此奴はお主を
手篭めにしてた
下郎であろう?
違う!!
ユージ…
私
助けてくれた
恩人!!
何…!?


すぅぅん…
正直
すまんかったの…
いえいえ…
誤解が解けて
なによりです
こちらこそ
お見苦しい姿を
見せてしまい
すいません…
全て話は
聞かせてもらった
シトリィが世話に
なったようで
我からも感謝するぞ


ところでじゃ!!
お主の欲望を叶えると魔力が回復すると聞いたのだが!?
ビクッ
えっ!?
ちょ……
ギュッ
姫様…
研究気質……
キラ
キラ
いいいい
我こそは魔王ヴァラクの娘にして魔導技術局局長!!
伏して控えよ!!
魔を使えば大地を割り智の深さは神をも凌ぐとも呼ばれた――
それこそが我…セレスであるッ!!
そうとも…誰が呼んだか――
ククク…


勇者召喚
魔法研究のせいで
シトリィ
飛ばされた…
ゴゴゴ
全部……
姫様の責任
のぉシトリィよ…
見ない間に我に対して
少しばかり毒が
強くなっておらぬか？
そんなことよりも
ユージとやらよ
お主のその特性を
調べたいのだが？
♪
そんな急に
言われましても…
ちゅっ♡
なんじゃ？
我も自らの身体には
いささかの自信が
あるのじゃが……
ぷるるん♡


ならば…
高貴な我の身体を好きに弄べる――
それでは不満かの…？


姫様!!
それ……
シトリィがッ!!
バッ
ほぅ…
嫉妬か?
しかし
シトリィよ
我もこちらへ
来る時に魔力が
無くなって
しまってのぉ…
くぐっ
我も同じ要領で
魔力補給したいのだが
それでも不満か?
…しかし…
わかりました…
本当にいいんですね?
我に命令できるなぞ
滅多にある事ではない…
フンッ!!
おぉよいぞ!
何でも好きに
申してみよ!!


ニヤッ…
それなら…
ガチャッ!!
バァ
ンッ
ななな…
なんじゃその
禍々しいモノはッ!?
じたばた
我を拘束して何を
するつもりなんじゃ!?


これはバイブって言うセレスさんを気持ち良くさせるモノです
気持ち…ッ!? いやその物体をどう使うつもりなんじゃ!?
すっ…
とりあえず体験してみればわかりますよ…
待て待て!!
好きにしていいとは言うたが少し考え…——
ぶあ!!?
ぬ
ブブブ
ビクッ!!
ビクッ!!


いかがわしいモノのイボイボが……
我の膣内(なか)をこすって……ッ
ズボッ
ズボッ
ふ…ふんっ
少しは驚いたが…
この程度で
我を弄ぼうとは
まだまだヌルいのぉ…
ぴくっ
ぴくっ
はっ
はっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
だが…
この程度ならば……
ビクッ
くっ…
さすが
魔王様の娘と
言われてますね…
なら…
こんなのは
どうでしょう？
カチッ
!?!?


くちゅ
くちゅ
ぷるっ
ぷるっ
あ…
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ヴ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
どうやら
気に入ってもらえた
ようですね
ではコレを使って
さらなる快楽を
お届けしましょう
先程の
未知なるモノに
我の膣内(なか)を
かき回されて…
あっ
あっ
こんな…こんな快楽…
我は知らぬ……ッ!!


ま…待て!!
これ以上何をしようと言うのだ!!
いくら我でも……——
ぴとっ
あっ…
ぐりんっ
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクビクッ!!
ビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビクビク


どうでしたか姫様…？
盛大にイッちゃいましたけどご満足いただけましたか？
ぴくっ♡
ふぅ～っ♡
ぷしっ
ぷしゅっ
あ～…でも少しやり過ぎちゃったかな……
がくっ
…あの姫様ここまで乱れる驚き……
は～っ♡
このアイテム…
快楽…そこまですごい…？


余韻に浸ってる中
申し訳ないんですけど…
ぴとっ
俺はまだ全然
気持ち良くなって
ないので続けさせて
もらいますよ
ﾊﾞｯ
なんじゃお主!!
ぷちゅっ
あれだけ我を弄んで
おいてまだ足りぬと
言うのか……ッ!!
さっきまでのは
前戯……――――
これからが
本番ですよッ!!


姫様ま●こ…
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
んあっ
あっ…
やあっ
はっ
はっ
イッたばかりだからかキツキツでとても気持ち良いですよッ!!
キュッ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
キュッ
ひあッ!!
きゃっ
ふにっ
もにゅっ
もにゅっ
気持ち…良い…?
こやつが動くたびに我も気持ち良くなっておるのか…?
ハッ
ハッ
ハッ


これは……
我の知ってる
性行為とは
全然違う…ッ♥♥
びくっ♡
おッ♡
おッ♡
おッ


それじゃあ
姫様ま●こで…
コッ
コッ
俺の全てを
受け取って
くださいッ!!
はぁっ
はっ
よいぞ…♡
思う存分に
射精すがよいッ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ふぁっ
はっ
はっ
はっ
はっ
んやぁっ


ハメ
ドスケベ
がくっ
がくっ
がくっ
がくっ
ヒクッ
ヒクッ
ビクンッ!!
ビクンッ!!
びゅ〜〜っ
びゅるるるっ
がくっ
おっ…
おおっ…
へっ…
へっ…
これが…人間のセックスというもの…か……


後日
ポーン☆
うわぁ…
こんなにたくさん……
一体どうしたんですか…？
ネットとやらで
お主の言ってた
「おもちゃ」とやらを
買ってみたんじゃ!!
ぎゅっ
シトリィから
色々教えて
もらってな――
すっ


ギロッ…
……シトリィさん？
ポ！！っ…
それにな……
お主がおもちゃを使って
我を弄ぶことで
我の魔力が効率的に回復
することがわかったのじゃ!!
ぺら
ぺら
ぺら
ぺら
ぺら
ぺら
なら次はどんなおもちゃで
どうすればより効率的に
魔力を回復できるか
検証せねばなるまいて……――
すっ
サワッ…
もっ
もっ
もっ
へぇ…
検証のため
仕方ないですね…
チッ
でも本当は
……――
姫様がもっと
シたいだけじゃ
ないんですか…？
くにっ
くにっ
くにっ


それからというものの…
ガ
ヴ
ヴ
ヴ


異世界のプリンセスの
身体が快楽に
沈み始めた……――――


そんな
ある日――
あっ…
あんっ
あっあっ
ほれ♡♡
どうした
ユージ…っ♡
我は
まだまだ…ッ
ちらっ…
ぱっ…
ぱっ…
もじ
もじ
コツンッ…
……
ごくっ…


はぁっ…
びくっ
はぁっ…
もにゅ
はぁっ…
もにゅ
もっ
びくっ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ
きゅうっ
コリッ
コリッ
ミミッ
ブルブルブルブル
フッ
フッ
キュッ
キュッ
じわぁ


はぁっ…
ぴくっ
はぁっ…
ぴくっ
はぁっ…
おや…？
ぼそっ
お主に一つ提案があるのじゃが……
ポリポリ
ちょ～っとお願いがあるんだけど…
シトリィじゃなきゃダメなんだよね
あのさシトリィ…


…ユージの願い
魔力回復のため
…仕方ない…
ユージ
最低…!!
シトリィと姫様
二人同時
許されない…ッ!!
まぁそう言うでない
シトリィよ
む
にゅっ♡


一人もよりも二人の方がな…
うぅ……
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
もっ
もっ
魔力回復の効率が良くなるかもしれぬじゃろ？
そのためにシトリィも協力するがよいぞ!!
たぷっ
たぷっ
うへへ
姫様　命令仕方ない……


それに…
シトリィも
うずいておったの
じゃろうに？
ならシトリィはさ…
ビンッ!!
俺のコイツで
どうして欲しい？
んッ…
もにゅ
もにゅ
もっ
……ッ
ほら……
ちゃんと声に出して
言ってごらん？
なっ
シ…シトリィは――


ユージの…
欲しい……♡
はぁっ♡
はぁっ♡
ユージのち●ぽ…
シトリィのま●こ
欲しい……ッ♡♡
はぁっ♡
もちろん
我も忘れては
ならぬぞ…♡
はぁっ♡
くぱぁ♡
ほれ
ユージよ…
我とシトリィを
お主の好きに
弄ぶが良い♡♡
ひんっ
ひんっ
ひんっ
ひんっ


それじゃあ
遠慮なく……――
二人の体を
たっぷりと堪能させて
もらいますねッ!!
ユージの…
ち●ぽ…っ
やっぱり…
すごく……
イい……っ♡


我も…
もう……っ
このち●こ無しでは
いられぬ……ッ♡
ユージよ…
我らをさらなる
快楽へいざなうが
よいぞ……ッ♡
ぢゅる
ぢゅる
ぢゅる
ぴくっ
はっ
はっ
あっ
あっ
あっ
あっ
ひあっ
ちゅっ
ちゅっ
ハァッ
ハァッ
ハァッ


…そろそろ
二人に俺の欲望を
ぶちまけますね…ッ!!
きて…
ユージ…っ
熱いの…
射精(だ)して…ッ♡
我も…っ
濃いのを
注いでくれ…ッ♡
あっ…
はっ
はっ
はっ


ビュッ
ビュッ
ビュッ


んん〜〜〜ッ
のびー〜〜
ムムム
オォン!!
さて…ちょっと着替えでも取りに魔界へ帰るか……——
いい汗かいたのぉ〜!!
ハッ
…あれ？姫様——
魔力……まだ溜まってない言ってなかった？
じ…実はの……帰れるだけの魔力は初めからあったんじゃがな…
もじ
もじ
あまりにもこっちの世界の性行為が気持ち良くて帰るのはいつでもいいかな〜〜って……


……ひめさま
ゴゴゴゴゴゴ
ウソ……ついてた？
よ…よいではないか!!
それにシトリィも熱を上げておったであろう…!?
まぁまぁ…
ん!?
それとこれ話違う!!
ズモモモ
あなたお主は…ッ!?
貴方達(シトリンたち)…

異世界メイドと1Rの主

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord

2



■奥付■
『異世界メイドと1Rの主2』

■発行日：2022/05/08
■発行：ふじ家/ねくたー

■WEB：http://fujiya32.blog.fc2.com/

■Mail：fujiya32_nectar@yahoo.co.jp

■PixivID：519170

■TwitterID：nectar_2

■印刷：スズトウシャドウ印刷 様

■原作協力：B-ta、勝沼さん

※この本は成年向けです。
18歳未満の方の閲覧はご遠慮願います。

※画像の転載、データ化、web等での
データ共有は禁止いたします。

異世界メイドと1Rの主 2

The Otherworldly Maid and the One-Room Lord

-Presented by Fujiya-

-2022 May-